

「フルハイビジョン」の満足度は34インチ以下でも高い 注目機能は「ハードディスク録画」。「有機EL」への期待大 『地デジ対応テレビ』についてのアンケート 調査結果のお知らせ

株式会社アスキー・メディアワークス(本社:東京都新宿区 代表取締役社長:高野 潔)は、株式会社角川クロスメディア(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:福田 全孝)、株式会社角川ザテレビジョン(本社:東京都港区 代表取締役社長:太田 修)の協力を得て、『地デジ対応テレビ』についてのアンケートを実施いたしました。この度、株式会社アスキー・メディアワークスのリサーチ・メディア部門である「アスキー総合研究所」が調査結果をまとめましたので、お知らせいたします。

主な調査結果

42%が地デジ対応テレビを利用。しかし、単身世帯では20%台の利用率にとどまる。
テレビの種類は「液晶テレビ」が8割と圧倒。35インチ以上では「プラズマ」が3割前後を占める。
「30～34インチ」が普及サイズ。夫婦のみの世帯は40インチ以上が多い傾向。
7割近くが何かしら購入時に困った経験を持つ。女性は特に用語がわからず、苦慮。
地デジ対応テレビ購入者が人に勧めたい機能では、「内蔵ハードディスクへの録画」が注目。
フルハイビジョンは、34インチ以下でも大幅に満足度が高い。
購入したいブランドは「アクオス」:63%、「ビエラ」:47%、「ブラビア」:39%。
購入ブランドでは「アクオス」:31%、「ビエラ」:18%、「ブラビア」:17%。
購入後「満足」は「アクオス」:80%、「ビエラ」:78%、「レグザ」:76%。「とても満足」では「レグザ」:22%。
地デジ対応テレビ利用者の不満トップは「チャンネルの切り換えや起動の時間」。
今後購入したい地デジ対応テレビでは、「有機ELテレビ」が14%と期待大。

調査の概要

- | | |
|--------------------------|---|
| (1)調査期間:
2008年8月中旬～下旬 | (3)調査対象:
Walker plus 読者、web ザテレビジョン読者、
アスキー総研モニター
有効サンプル:789 |
| (2)調査方法:Web アンケート | |

【報道関係のお問い合わせ】

株式会社アスキー・メディアワークス アスキー総合研究所 (TEL:03-6866-7338)

『地デジ対応テレビ』についてのアンケート 集計結果

株式会社アスキー・メディアワークス
アスキー総合研究所

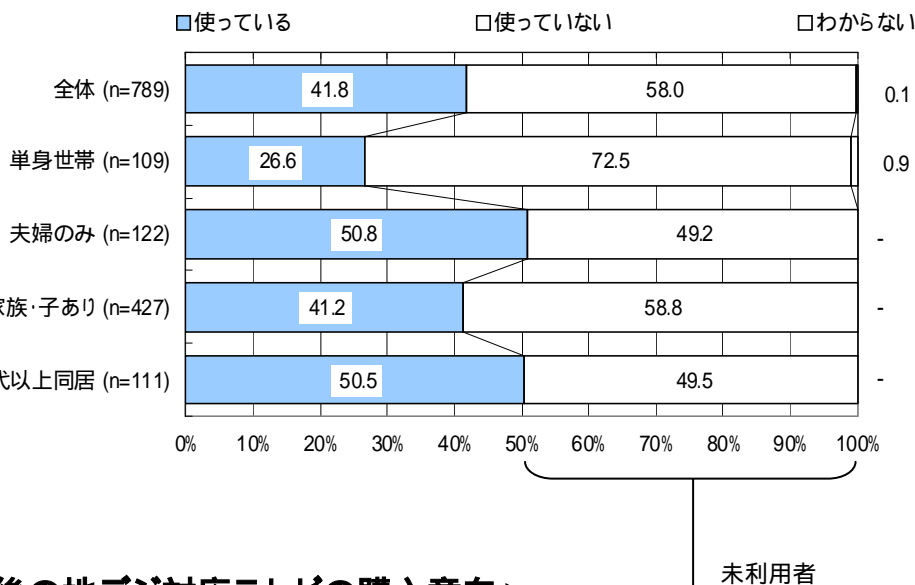
<地デジ対応テレビの利用有無>

42%が利用。しかし、家族形態では単身世帯で20%台の利用率。

地上デジタル放送(以降、「地デジ」と表記)対応テレビの利用率はアンケート回答者全体の42%。

しかし、家族構成別に見ると、「単独世帯」で27%と低く、「夫婦のみ世帯」、「2世代以上同居世帯」で高い。

地デジ対応テレビの使用有無 / 家族構成別



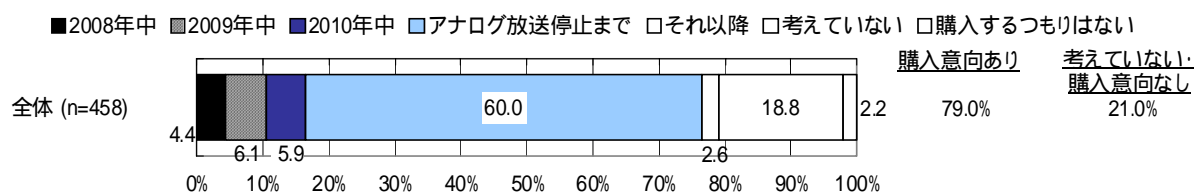
<今後の地デジ対応テレビの購入意向>

未利用者の60%は「アナログ放送停止まで」に地デジ対応テレビを購入。

2011年7月に地上波アナログ放送の終了が予定されていることを伝えた上で、地デジ対応テレビの購入意向を尋ねたところ、地デジ対応テレビの未利用者では、「2008年中」、「2009年中」、「2010年中」はそれぞれ4~6%。60%は「アナログ放送停止まで」と、購入を想定しているものの、時期は未定。

その他では、「考えていない」が多く、19%。「購入するつもりはない」は2%。どちらの場合も、DVDレコーダーやチューナーを接続して視聴しているケースが含まれる。

今後の地デジ対応テレビの購入意向 [地デジ対応テレビ未利用者]

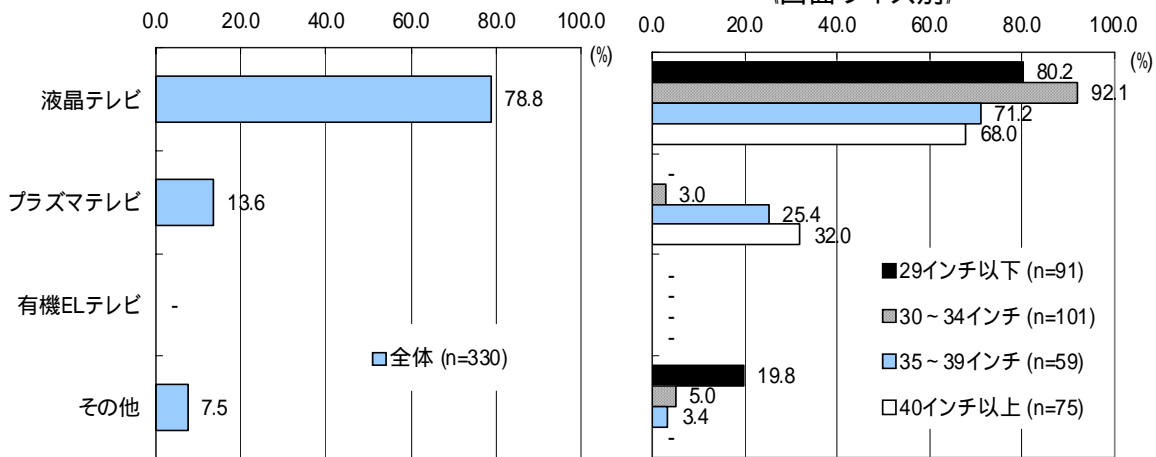


< 自宅で利用している地デジ対応テレビの種類 >

「液晶テレビ」が8割と他を圧倒。35インチ以上では「プラズマ」が3割前後を占める。

自宅で主に利用している地デジ対応テレビは、「液晶テレビ」が圧倒的に多く、79%。次いで「プラズマテレビ」の14%。ただし、サイズ別に見ると、35インチ以上で「プラズマテレビ」が比較的高く、「35～39インチ」で25%、「40インチ以上」で32%。逆に「30～34インチ」では「液晶テレビ」が92%と大半を占める。

自宅で主に利用している地デジ対応テレビ
[地デジ対応テレビ保有者] (全体)



< 利用している地デジ対応テレビの画面サイズ >

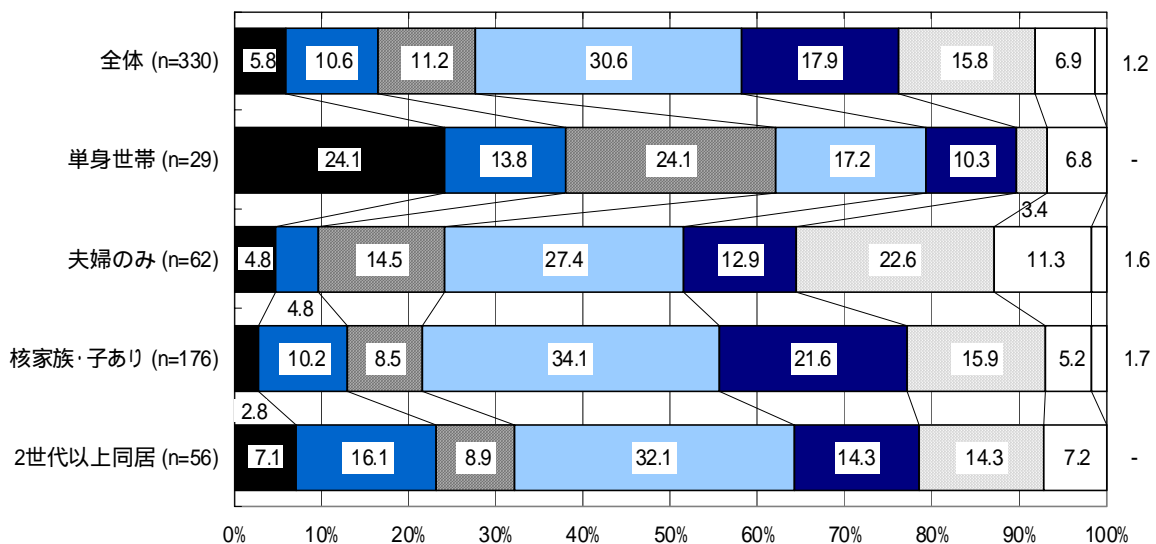
「30～34インチ」が普及サイズ。夫婦のみの世帯は40インチ以上が多い傾向。

利用している地デジ対応テレビの画面サイズは購入時期によって異なると考えられるが、これまでに地デジ対応テレビを購入した人の中で見ると、「30～34インチ」が最も多く、31%と3分の1近くを占める。

画面サイズは家族構成によって大きく異なり、「単身世帯」では小さく、特に30インチ未満を選択する傾向が見られる。また、可処分所得が高い「夫婦のみ」の世帯では「40～44インチ」、「45インチ以上」など大型のテレビを購入する傾向が見られる。

利用中の地デジ対応テレビの画面サイズ / 家族構成別
[地デジ対応テレビ保有者]

■19インチ以下 ■20～24インチ ■25～29インチ ■30～34インチ ■35～39インチ □40～44インチ □45インチ以上 □わからない



<地デジ対応テレビの選択基準>

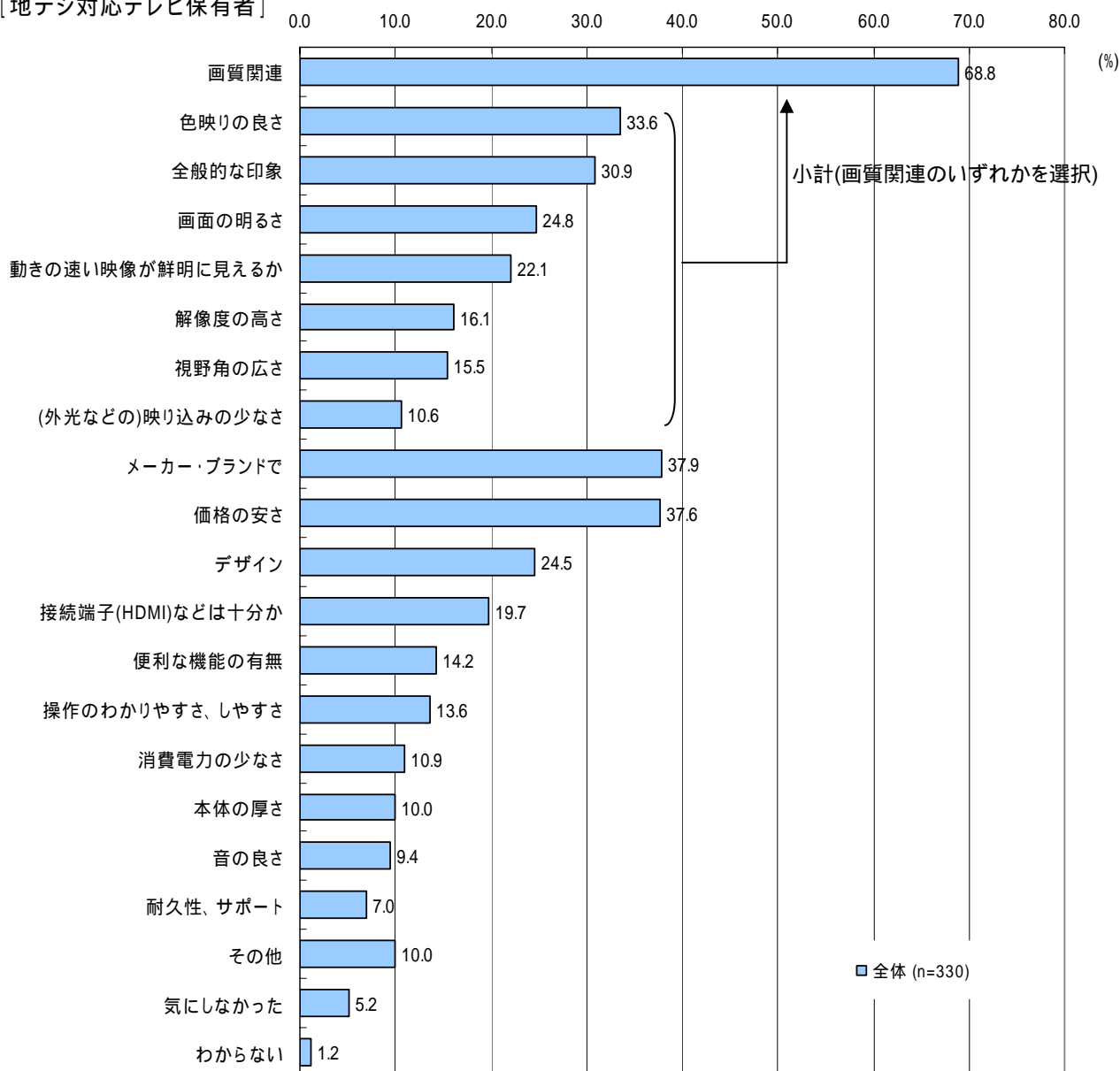
「画質関連」が最も多く、そのなかで「色映りの良さ」が最も多い。

「画質関連」以外では「メーカー・ブランドで」、「価格の安さ」が38%でトップ。

地デジ対応テレビを選んだ基準としては、「画質関連」が最も多く69%。画質の中では「色映りの良さ」が最も多く、次いで「全般的な印象」。「画質関連」以外では、「メーカー・ブランドで」、「価格の安さ」が最も高く、38%。メーカー・ブランドが「デザイン」などを上回り、価格と並ぶほど大きな選択基準となっている点が注目される。

利用中の地デジ対応テレビを選んだ基準

[地デジ対応テレビ保有者]



<地デジ対応テレビ購入時に困ったこと>

7割近くが何かしら購入時に困った経験を持つ。

特に女性は選択に苦慮、用語がわからないことが背景に。

地デジ対応テレビ購入検討の際、68%は何かしら困ったことがあったとしている。最も多いのは「自宅で見るときにどう見えるか想像が難しかった」、「商品の種類が沢山あって、比べるのが大変だった」、「商品の特徴や機能が実際にどの程度効果があるのかわからなかった」で、それぞれ約25%。

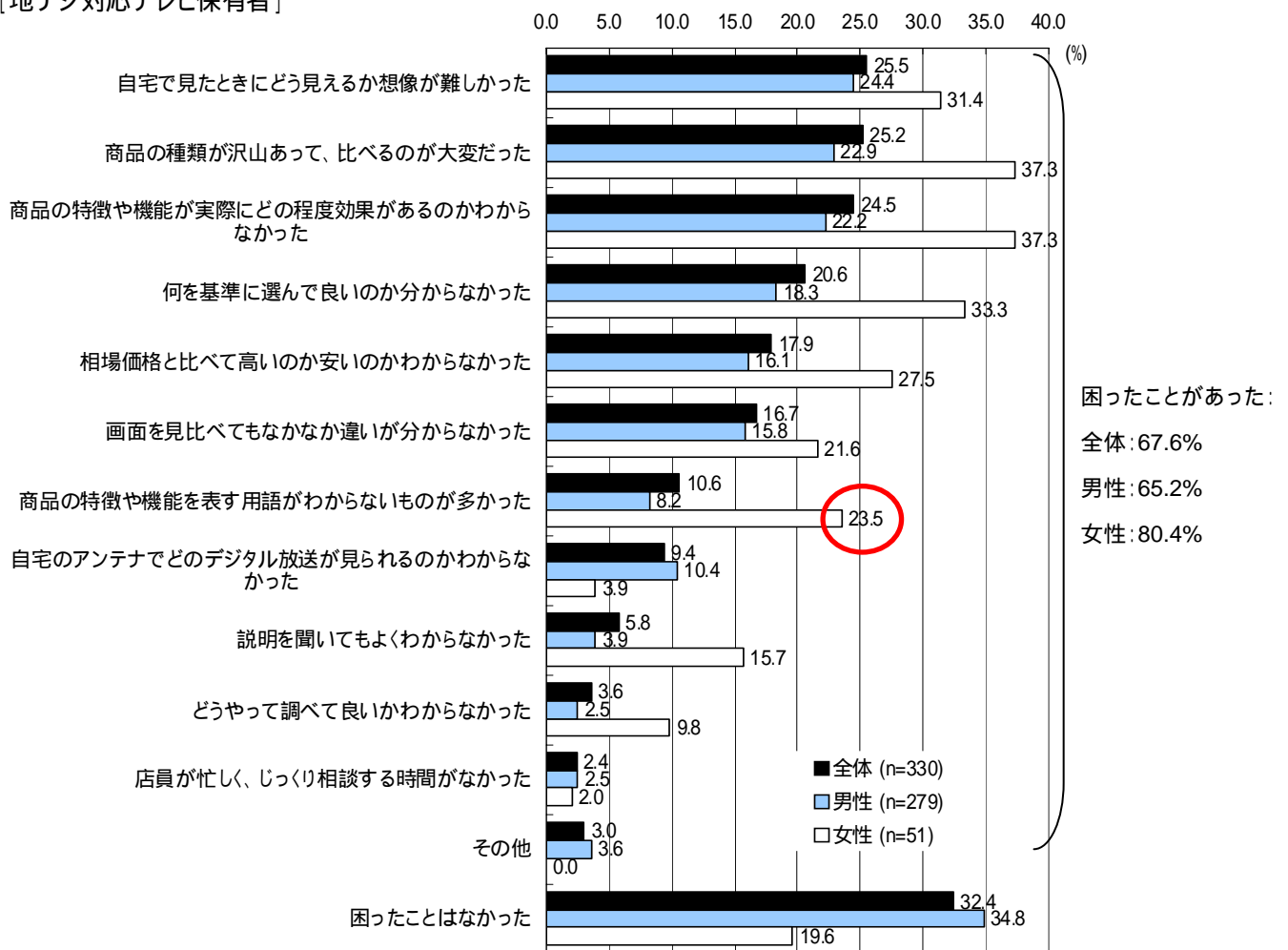
最適なテレビを選ぶには、画面サイズ、液晶テレビ/プラズマテレビの選択など、視聴環境に合ったものを選ぶことが重要になり、「自宅で見るときにどう見えるか想像が難しかった」が多いのは、そのためと思われる。

「商品の特徴や機能が実際にどの程度効果があるのかわからなかった」が多いのは、フルハイビジョンや倍速表示など画質に関する機能の有無によって明確な価格差がありながら、店頭で見ただけではすぐにはわからないのが実状であるためと考えられる。

性別で比較すると、女性は総じて購入検討に困った人が多く、80%が何らかの点で困ったとしている。

特に女性で高いのは「商品の特徴や機能を表す用語がわからないものが多かった」で、男性の8%に対し、24%。画質に関する機能について技術的な説明が多いことが、地デジ対応テレビを検討する女性を特に悩ませていると考えられる。

地デジ対応テレビ購入時に困ったこと / 全体 + 性別
[地デジ対応テレビ保有者]



<人に勧めたい機能、特徴>

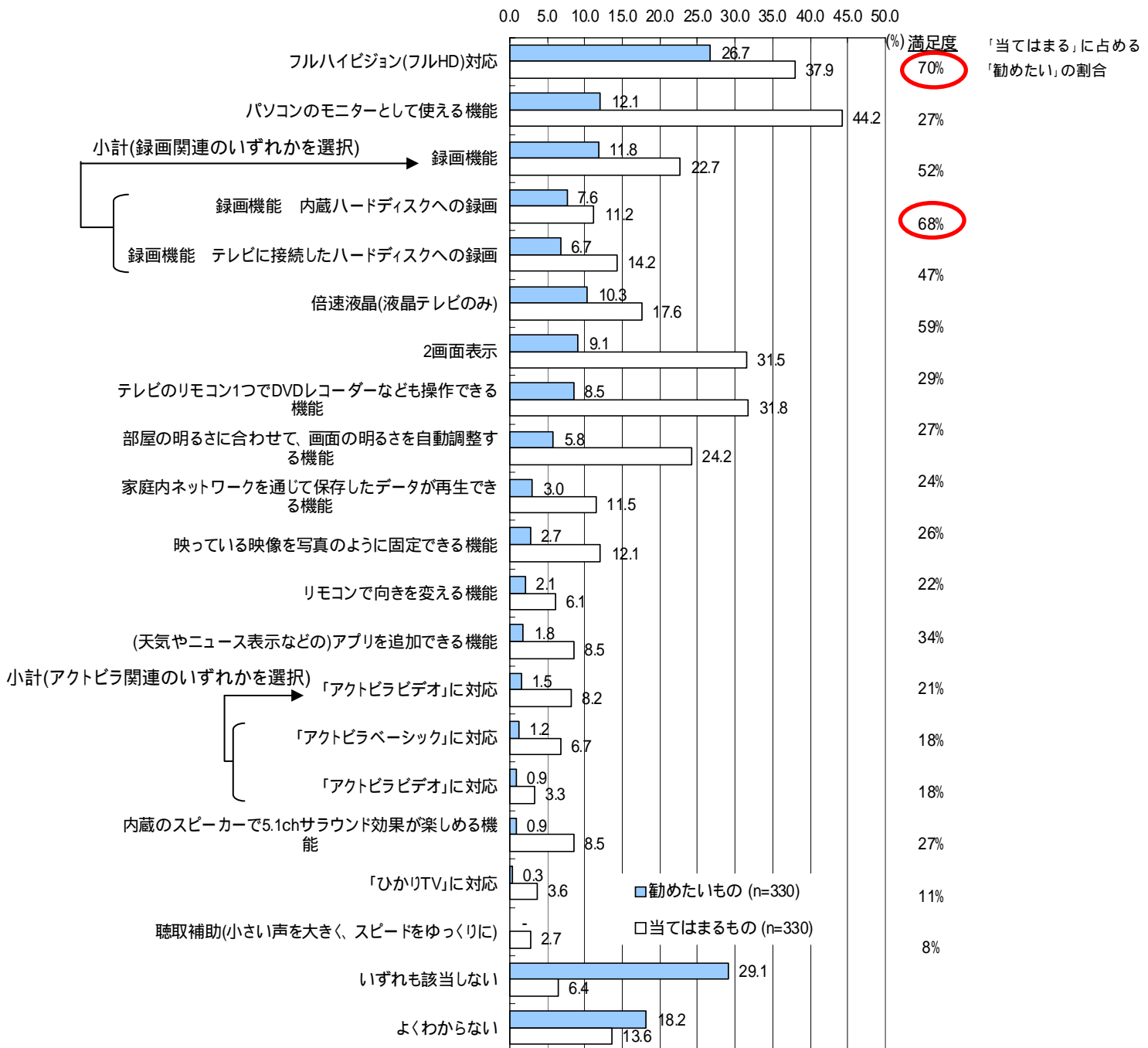
オススメ1位は断トツで「フルハイビジョン」。

満足度では「内蔵ハードディスクへの録画機能」が「フルハイビジョン」に並ぶ高さ。

利用中の地デジ対応テレビが備える機能、特徴のうち、人に勧めたいものを尋ねたところ、「フルハイビジョン対応」が27%で最も高い。

また、それぞれの機能について該当機種を持っている人の中でその機能を勧める人の割合(グラフ中の「満足度」の割合)を見ると、「フルハイビジョン」(70%)が最も高く、それに並んで、レグザ(東芝)やウー(日立)などに見られる「録画機能 - 内蔵ハードディスクへの録画」(68%)が最も高くなっている。

利用中の地デジ対応テレビに当てはまるもの、人に勧めたい機能
[地デジ対応テレビ保有者]



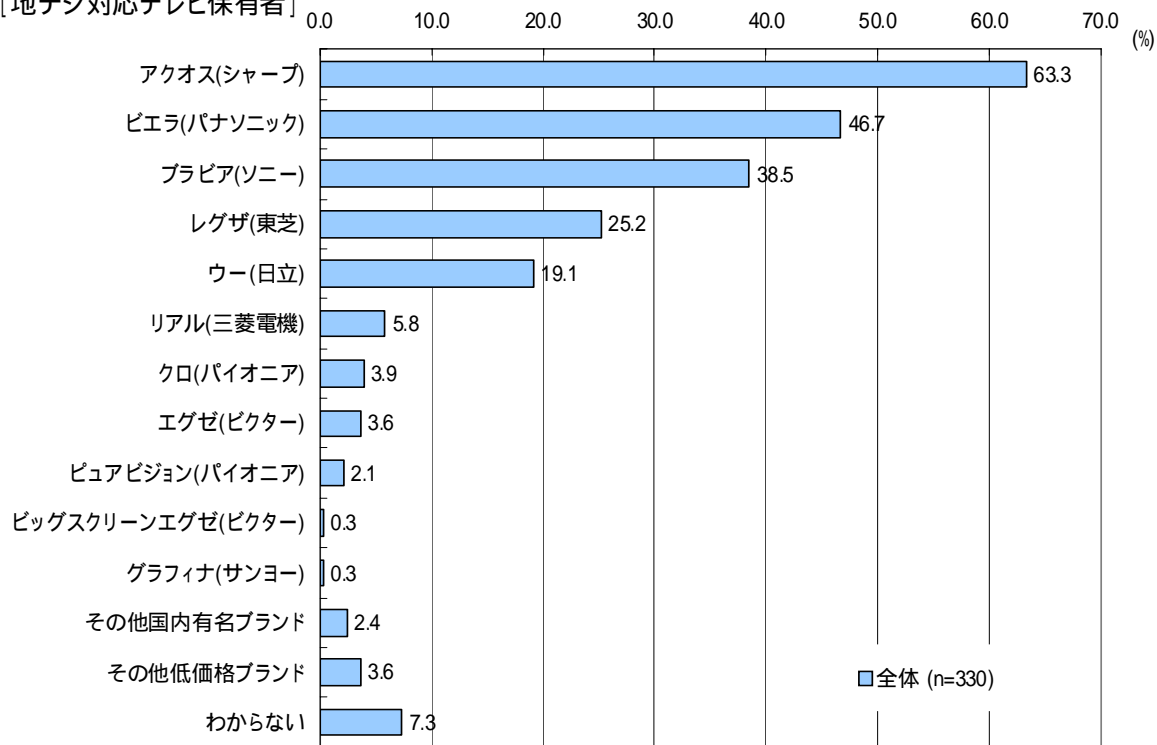
<購入前に欲しいと思ったブランド、購入した商品のブランド>

購入前後で「アクオス(シャープ)」がトップ。購入したものでは他を引き離して1位。

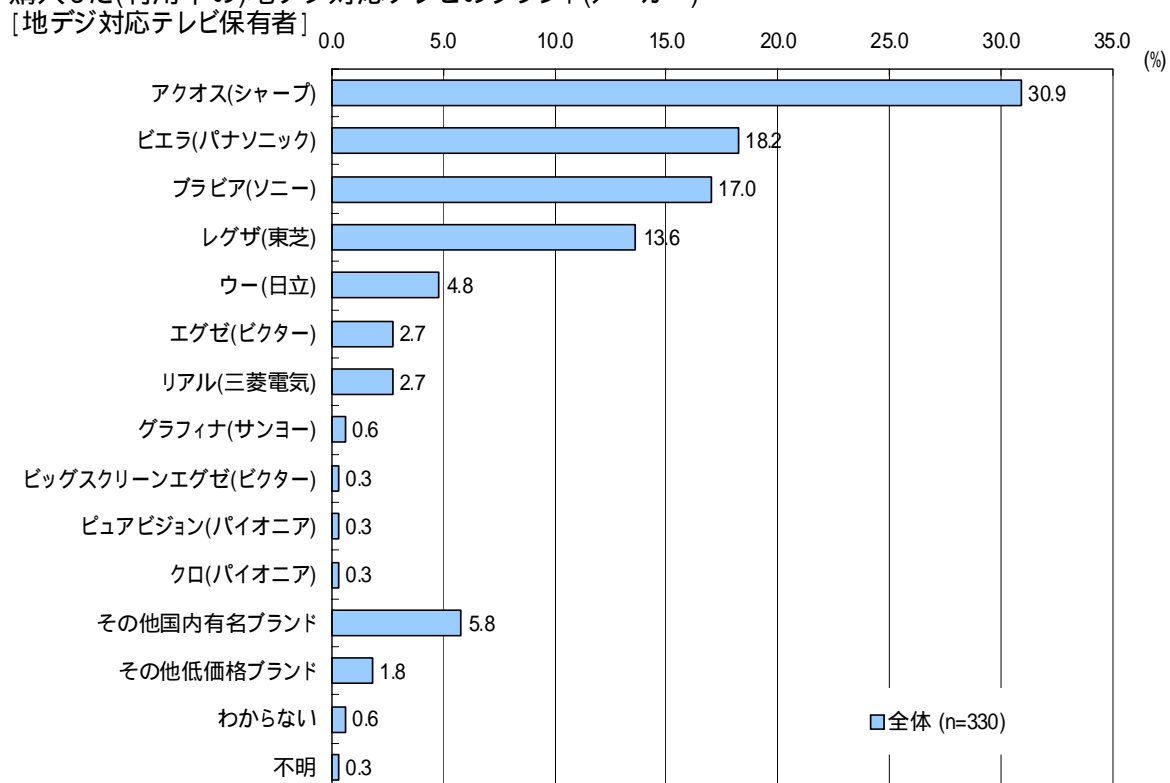
購入前に欲しいと思ったブランド(メーカー)では、「アクオス(シャープ)」が63%でトップ。次いで「ビエラ(パナソニック)」が47%、「ブラビア(ソニー)」(39%)が続く。

「アクオス(シャープ)」は、実際に購入した地デジ対応テレビのブランド(メーカー)で31%と他を引き離して1位。「ビエラ(パナソニック)」、「ブラビア(ソニー)」に比べて、購入比率ではさらにアクオスが優位に立っている。

購入前に欲しいと思ったブランド(メーカー)
[地デジ対応テレビ保有者]



購入した(利用中の)地デジ対応テレビのブランド(メーカー)



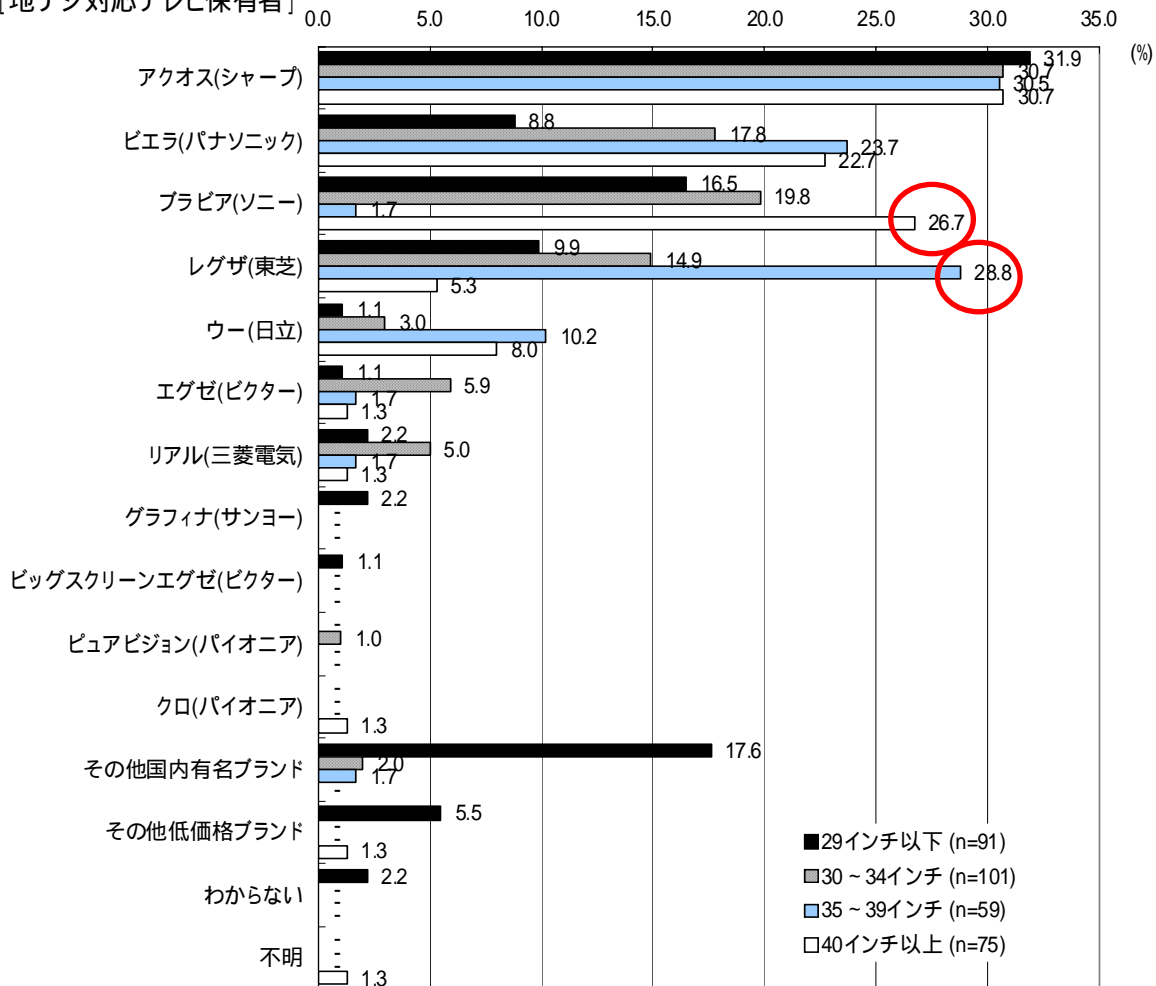
<画面サイズ別の購入商品のブランド>

「35～39インチ」では「レグザ(東芝)」、「40インチ以上」では「ブラビア(ソニー)」が「アクオス(シャープ)」に迫る高さ

購入した地デジ対応テレビを画面サイズ別に比較すると、「35～39インチ」で「レグザ(東芝)」が、「40インチ以上」では「ブラビア(ソニー)」が「ブラビア(シャープ)」に迫る高さとなっている。

購入した(利用中の)地デジ対応テレビのブランド(メーカー)

[地デジ対応テレビ保有者]



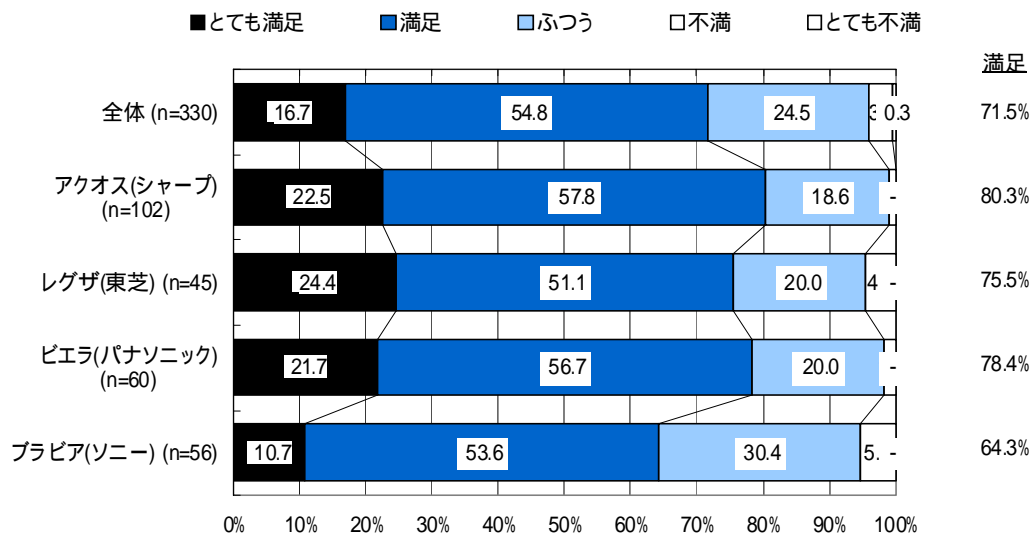
<利用している地デジ対応テレビの総合的な満足度>

「アクオス(シャープ)」が満足:80%。「レグザ(東芝)」は「とても満足」が高い。
フルハイビジョンは、34インチ以下でも満足度に大差。

ブランド(メーカー)別で総合的な満足度を比較すると、「とても満足」で「レグザ(東芝)」が24%と最も高く、「満足」まで含めた割合では「アクオス(シャープ)」が80%で最も高い。

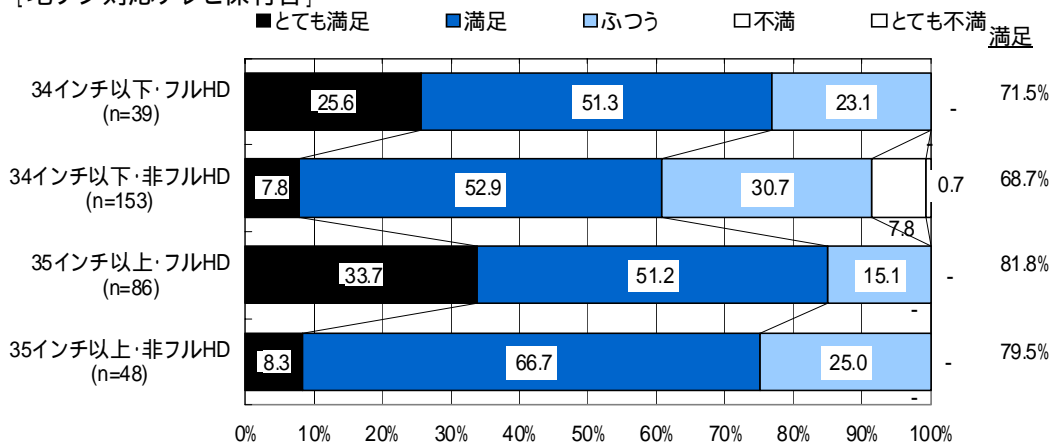
また、フルハイビジョン(グラフ中では「フルHD」と表記)への対応有無による満足度の違いを有無画面サイズ35インチ以上と34インチ以下でそれぞれ比較すると、画面サイズの大小に関わらず、フルハイビジョン対応テレビの利用者で満足度が圧倒的に高くなっている。32インチ以下など一定の画面サイズを下回ると、フルハイビジョンとハイビジョンの違いを判別するのは難しくなると言われるが、満足度に大きな差が見られる点が注目される。

使用中の地デジ対応テレビの満足度 / ブランド(メーカー)別



利用中の地デジ対応テレビの満足度 / 画面サイズ・フルHD対応有無別

[地デジ対応テレビ保有者]



<地デジ対応テレビを購入して機能や特徴で後悔したこと>

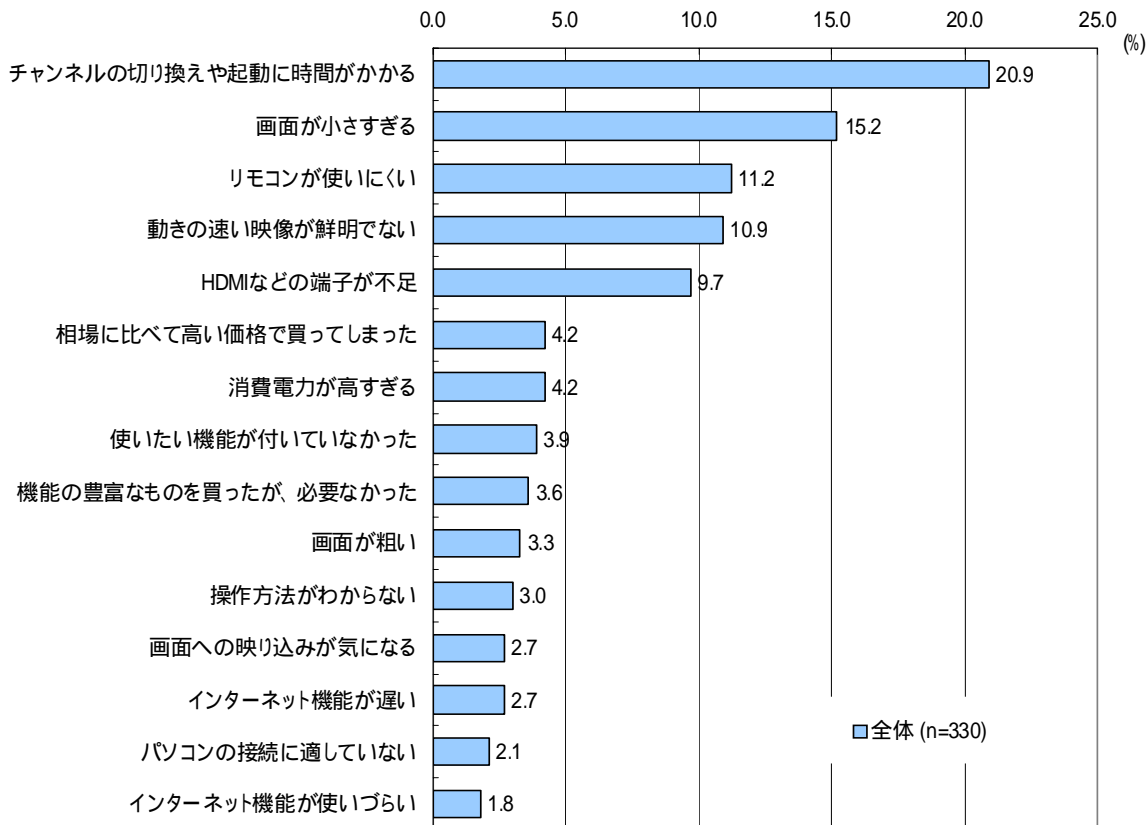
地デジ対応テレビ利用者の不満トップは「チャンネルの切り換えや起動の時間」。

利用中の地デジ対応テレビを購入して後悔したことを尋ねた結果では、「チャンネルの切り換えや起動に時間がかかる」が21%で最も多い。次いで「画面が小さすぎる」(15%)、「リモコンが使いにくい」(11%)。

一般に地デジ対応テレビは、解像度や付加機能などの多くの面で従来のアナログ放送向けのテレビを上回るが、チャンネルの切り換えや起動に時間がかかるという短所があり、この点は購入の際に注意の喚起が必要となる。

利用中の地デジ対応テレビを購入して後悔したこと(上位15位)

[地デジ対応テレビ保有者]



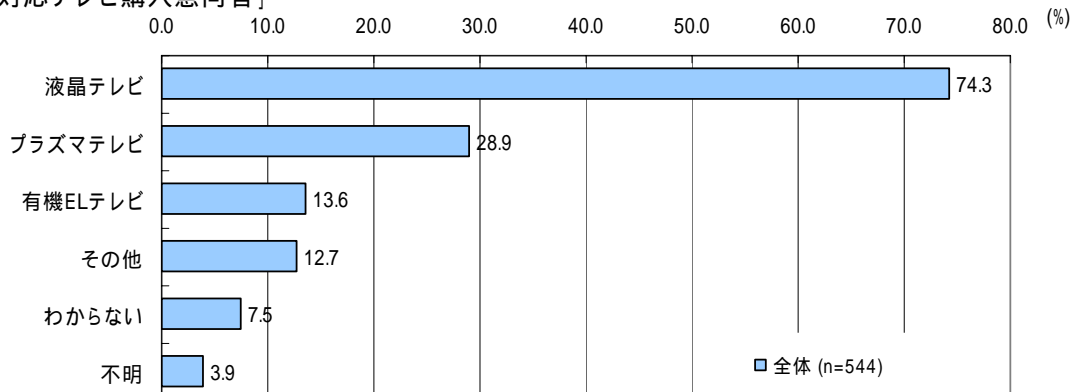
<今後購入したい地デジ対応テレビ>

「有機ELテレビ」が14%で3位につける。

今後地デジ対応テレビの購入を考える人に購入したいテレビを尋ねたところ、1位は「液晶テレビ」で74%。次いで「プラズマテレビ」の29%。現在ではほとんど利用者のいない「有機ELテレビ」が14%で続いており、期待の高さが伺える。

購入を考えている地デジ対応テレビの種類

[地デジ対応テレビ購入意向者]



【アスキー総合研究所】

アスキー総合研究所は、株式会社アスキー・メディアワークスの法人向けリサーチ・メディア部門です。コンテンツ、カルチャー、および Web、PC、携帯電話などによるコミュニケーションを対象として、法人向けに調査・分析データの販売を行っています。

〒160-8326 東京都新宿区西新宿 4-34-7 住友不動産西新宿ビル 5 号館

株式会社アスキー・メディアワークス アスキー総合研究所 TEL:03-6866-7338

【株式会社アスキー・メディアワークス】 URL:<http://asciimw.jp/>

出版を基盤としながら、コンテンツをクロスメディア、映像までメディアを超えてプロデュースするコンテンツ・プロデュース・カンパニーです。『アスキー』『電撃』という 2 つのブランドを軸として、(Entertainment) (Business) (Culture) という 3 つの事業領域にコンテンツを発信しています。

2008 年 4 月、株式会社アスキーと株式会社メディアワークスが合併いたしました。

【ウォーカープラス】

株式会社角川クロスメディアが発行する“街&エンタメ”情報誌「ウォーカー」の公式サイトです。誌面の情報を活用した正確で豊富かつ旬で季節感のあるコンテンツが、ユーザーの信頼・支持を獲得しています。

〒102-8077 東京都千代田区富士見 1-3-11 富士見デュプレックス B's

株式会社角川クロスメディア TEL:03-3238-8422(代表)

【web ザテレビジョン】

「ザテレビジョン」公式 web サイト。全国の番組表やエンターテインメント情報を発信しています。

〒105-8455 東京都港区虎ノ門 2-2-5 共同通信会館 4 階

株式会社角川ザテレビジョン TEL:03-3560-8700(代表)

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社アスキー・メディアワークス アスキー総合研究所 TEL:03-6866-7338